



○東北高校ハンドボール選抜大会 (1/31~2/3、於：福島県)

1月31日(木)~2月3日(日)にかけて、福島県あづま総合体育館で開催された東北選抜大会の結果をお知らせします。残念ながら全国選抜出場にはなりませんでしたが、次年度のインターハイに向けて頑張ってもらいたいと思います。

男子トーナメント1回戦	男子トーナメント2回戦
○羽後-北村山 27-20	●羽後-盛岡南 17-24

○慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス長谷部葉子研究会合宿!!! (2/2~2/5、於：セミナーハウス)

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(通称SFC)の長谷部葉子研究会から大学生約50名が来校して学期末合宿を開催しました。合宿では雪上スポーツ大会を高校生と一緒に企画運営したり、大学生と一緒に自分の魅力発見を目指したワークショップを行ったり、地域散策を一緒に行って羽後町の魅力アップするためのプランを一緒に発表したりと中身の濃い時間を共有させて頂きました。参加した生徒から感想を頂きましたので紹介します。

初日は緊張もありましたが大学生の皆さんとのWSや夕食と楽しい時間を過ごし交流を深めました。

2日目の午前中は、雪像作りや雪合戦を行い、大学生とさらに仲を深めることが出来たと思います。大学生と高校生、そして地域の方々が共に楽しむ事が出来、素晴らしい雪上イベントになりました。午後の大学生の卒プロ発表や高校生の魅力発見WSなどはとても刺激的で自分について深く考え、将来について改めて再考する時間となりました。今度は自分が下の世代に向けて同じような取り組みを行いたいと思います。

3日目は各班に分かれて小中学校を訪問した後、地域散策を行い、地域の魅力探しを行うというフィールドワークを行いました。次の日にその成果を羽後町活性化センターにて、チーム毎に発表を行いました。私は、①今の自分や今の地域にもまだまだ魅力が隠されていること、②気づききっかけをつくりたいと言うことを発表しました。

この4日間は私にとってとても充実した期間で多くの事を学ばせて頂いたと思います。今後、私自身の将来に活かして行きたいと思います。(3年生)

なお、この合宿の中で、高校生の自主性や積極性も大きく向上し、現在高校生主体で次の2つのプロジェクトを実行しようと計画中です。是非ご注目下さい!!!

(1) 夢トーク~高校生×中学生~ 3/15(金) 14:20~17:00 於：羽後中学校

(2) フリーマーケット~エシカル消費を知ってもらう~ 3月(詳細未定) 於：道の駅(予定)



雪上スポーツ大会の1コマ



午後は大満足のWSでした!!!

○SCHうご (スーパーコミュニティハイスクールうご) (2/10、於：羽後町活性化センター)

2月10日(日)、羽後町活性化センターにてSCHうごを開催しました(主催：羽後高校、羽後町)。この「SCHうご」とは高校と地域連携の必要性について考え、次年度への展望を考えるフォーラムです。当日は大正大学の浦崎太郎教授や能代工業高校の小松弘樹校長先生から講演を頂き、国際教養大学や雄物川高校、羽後高校の事例発表と盛り沢山のプログラムになりました。大人や大学生と高校生同士が交流し、新たな可能性を感じさせるフォーラムとすることが出来ました。参加者の感想とアンケートからの感想(抜粋)を紹介します。

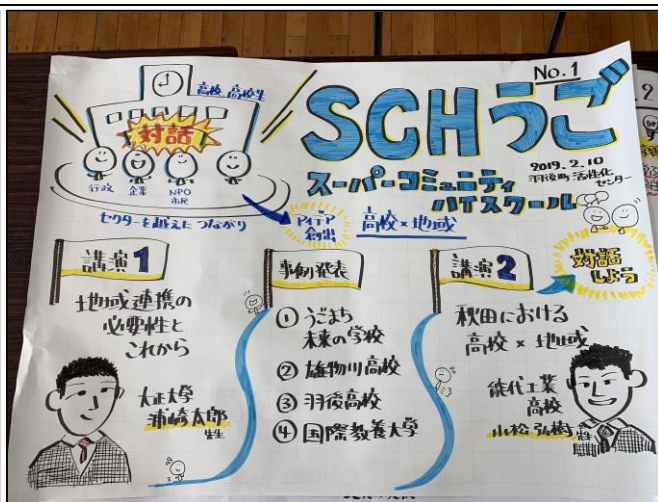
2月10日に活性化センターで行われたSCHうごを羽後町と一緒に企画・運営しました。運営しながら参加してみて、①自分の住んでいる町にアクションを起こすこと、②色々なことに「ツッコミ」入れることが大事であることが分かりました。また、「ホント?なぜ?他には?」というキーワードを普段の生活や授業で活用することで、理解の向上に繋がることを学んだので今後に活かしたいと思いました。(生徒会副会長)

【アンケートより】

- ・地域での体験で得た課題を学校で習得、学習するという学校が得られる地域連携のメリットを知ることができました。
- ・授業の中で地域との連携を行っている知り、これは持続可能だと思いました。
- ・地域と共に学校を変えていく意識を強く持ちたいと思いました。
- ・地域での体験で得た課題を学校で習得、学習するという、学校側が得られる地域連携のメリットを知ることが出来ました。能工フォーラムのような生徒と地域の方々が直接対話する場を10年以上続けてこられているのも素晴らしいと思いました。
- ・赤と青のところ紫になるように、私たちの活動をもっと積極的に参加できるように頑張りたいと思いました。地域の人たちの意識のズレがあることに関して、すごくびっくりしました。現在は改善されてきているものの、まだまだ成長できると思うので頑張りたいと思いました。
- ・羽後高校生のスタッフの皆さんが、よく周囲を見て動いていることに驚きました。これも日々の活動の成果だと思います。またの機会があればさらに勉強させていただきたいです。
- ・羽後町、羽後高校について多くの事を知ることができました。何を、どのように行うことで、どうなるのか。とても明確にプレゼンを行っていたと思います。そのため、羽後町が行っているプロジェクトの素晴らしさや必要性について学ぶことができたので良かったです。また、国際教養大学の三宅さんのプレゼンでふるふる秋田がとても魅力的な活動であると強く感じました。さらに詳しく知りたいと思っています。
- ・高校生が実施している活動をたくさん知り、自分が想像している以上に地域と高校生の連携がされており、非常に素晴らしいと思います。
- ・地域連携の必要性について深く学ぶことができました。
- ・振り返りを学校の授業だけでなく地域との関わりの中でも振り返りをすることが大切だと知ることができた。
- ・ただ知識をはき出すためだけの勉強ではなく、知識を生み出す、使う力を身につけられるように「自分で問い立てる」ことをしていきたい。
- ・私たちが、今どんなことを考え、何をし何ができるかを考えることが出来ました。一人では決して解決できない課題でも周りへ積極的に「SOS」を発信しよりよい町作りを目指すと共に、自分の豊かな学習へとつなげることができればよいと考えています。



80名を超える参加者に恵まれました。



15枚のグラフィックレコーディングにまとめて頂きました!!!

○SIM2030うご町版作成及び実施（2/12、於：羽後高校）

2月12日（火）、3年生の出校日にまちづくりシミュレーションゲーム SIM2030うご町版を実施しました。このSIMは2030年に向けたまちづくりを「対話」を通してシミュレーションしていくゲームで、全国の自治体でご当地版が作成されております。今回は羽後町役場の職員と羽後高校生徒会で連携し、一緒にご当地版SIMを作りました。作成者と参加者の感想を紹介します。

仮想の町「うご町」の概要や各課の課題を考えるのは難しかったです。うご町の概要は実際の羽後町のデータを参考にして作りましたが、改めて羽後町の基本情報や自然環境・生活文化について知ることができました。各課の課題は、事業カードや実際の羽後町で行われている取り組みを基にして作りしました。辻褄が合うように課題や文章を考えるのはとても大変でした。

時間はかかりましたが、無事にゲームとして成立するものが完成して良かったです。この資料作りをした経験を、社会人として仕事をするときに活かしていきたいと思います。（前生徒会長）

【参加者からの感想】

- ・ゲームではあるが、今の羽後町と重ねて考えている子が多く、リアル感がでて良かった。
- ・目指す町によって維持廃止の仕分けが決まってくると感じた。
- ・事例に対して具体的に考えることができるゲーム!!!色々な考え方があって面白い。正解がないから自由に発信できる!!!
- ・自分達で普段考えることのない行政、町の方向性を考えることは有意義だし、これによって町について考える機会になればと思う。
- ・難しかったけど、楽しかったです。色々な意見があって面白かったです。
- ・班で協力して、イベントや福祉について考えることができ、良い時間になった。
- ・自分の住んでいる町について見つめ直すきっかけになった。
- ・町の事業について深く考えることが出来ました。
- ・事業を廃止することでどんな影響があるのか、その理由は何なのか、借金した場合の返済はどうするのか・・・など考えさせられることが多かった。
- ・難しかったです。現在のこと将来のことを考えての町づくりだったので悩むことが多かったです。
- ・ビジョンを持って取り組まないと何の特徴も無いまちになってしまうと感じた。
- ・普段考えることが無いことなので、余計に頭を使いました。
- ・理想の町づくりに向けて、何かを犠牲にしないといけない時もあるということ、お金のやりくりが必要だということを知りました。優先順位のしっかり考えることの大切さを改めて知りました。行政職員は大変ですね。
- ・難しい話だったけど、ゲームすることによって楽しくすることができました。秋田にディズニーランドのような施設をつくって欲しいと考えていたけど、簡単な話ではないと実感しました。
- ・とても良い体験になりました。自分も町のために今できることを考えていきたいです。
- ・羽後町の現状を詳しく知れて良い体験になった。羽後町の自然を守りつつ活性化させるのは難しいことと感じた。



予算案の編成中



全体の様子